

好奇心伸び放題！出る杭を伸ばす



ラーンネット・グローバルスクール
Learnnet Global School



フルスクール

月～金・8:30～15:30 【対象】小学生

六甲山の豊かな自然の中で毎日学べるフルタイムの探究学習スクール。自ら学ぶ力を身につけ、
梓にとらわれず、好奇心・探究心を大きく伸ばします。

バンビーナ

月火木金・9:00～14:00 水・9:00～11:30 【対象】3才から就学前まで

モンテッソーリ教育を取り入れた少人数の幼児クラス（認可外保育施設）。温かい雰囲気の中で
のびのび個々の力を発揮できます。

アフタースクール

☆ステモン・クラス：STEM教育の基礎を楽しみながら身につけます。土曜【対象：小学生～】

☆ダ・ヴィンチクラス：五感を統合的に活用し脳の働きを活性化させる「臨床美術」という手法
を活かしたアート教室です。 土曜【対象：3才～大人】

その他ワークショップ

小中学生対象の「サマースクール」や親子で参加できる音楽イベント、大人向けの「探究ナビ講座」「オンライン・探究ナビ講座」など様々な講座を開催しています。

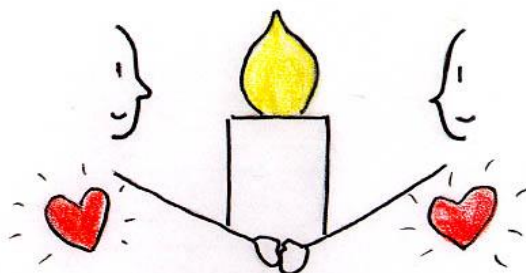
目 次

●ラーネット・グローバルスクールの理念	P 2
●フルスクール	
・フルスクールの特徴	P 3-5
・ベーシックカリキュラム	P 6-8
・探究カリキュラム テーマ学習	P 9-12
・探究カリキュラム プロジェクト学習	P13-14
・探究カリキュラム とことんやろう！	P15
●バンビーナ	
・バンビーナの特徴	P16
・モンテッソーリ教育とスケジュール	P17
●アフタースクール	P18
・ダ・ヴィンチクラス	P19
●フルスクールQ&A	P20
1. スクールの位置付け	P21
2. 学校との関係	P22
3. 卒業後の進路	P22
4. カリキュラム	P23
5. スタッフ・協力者	P24
6. 保護者とスクールとの関係	P25
7. 費用	P25
8. 応募・入学資格	P26
●施設（教室）	P27

ラーンネット・グローバルスクールの理念

基本理念：Oplysning

Oplysning（オプリュスニング）とは、デンマーク語で“教育”を表わす言葉
 「自分を照らし、相手も照らし、お互いに成長する」という意味。
 英語の“enlightenment（啓発）”と同義



【自分の中に火を灯す】

人との比較や他人の評価について悩むことなく、
 自分らしさを前向きにとらえ、
 好きなこと・得意なことを見つけ、夢を持ち、
 それに自信を持って取り組み、
 やり遂げることによって、いきいきと生きる

【人と互いに照らし合う】

人の考えや気持ちをよく理解し、
 争うのではなく共に行動し、
 楽しみ、刺激しあうことによって
 共に学び、成長する

Oplysning 実現のために

子どもにもってほしいもの

- ・夢
- ・自信と人への信頼
- ・感性・思いやり・助け合う気持ち
- ・好奇心・探究心
 - ・思考力
 - ・表現力
 - ・創造力
 - ・行動力
 - ・責任感

ナビゲータ（※）の役割

- ・子どもを信頼し、いい点を見つける
- ・自ら良い見本を見せる
- ・本物・自然との経験や人との
出合いの機会をつくる
- ・子どもとの対話によって刺激し合い、
ともに学び、成長する

（※）ラーンネットでは、子どもの学習を側面支援するという意味で、先生でなくナビゲータと呼んでいます

フルスクール の特徴

●少人数クラス

学年と子どものペースに応じて3つのクラスを設けています。
ひとりひとりの子どもの様子をしっかり観察し、学びをサポートします。

クラス	対象	定員	期間	時間
低学年	1・2年	1学年8名	1学期：4月初旬～ 7月中旬 2学期：9月初旬～12月中旬 3学期：1月初旬～ 3月中旬	火～金
中学年	3・4年			月～金 8:30～15:30
高学年	5・6年			

●社会経験豊富なナビゲータが、子どもの主体的学習をサポート

子どもの学習を側面から支援するという意味で、ラーンネットでは先生でなく「ナビゲータ」と呼んでいます。ナビゲータは、各分野において豊富な社会人経験を有し、その経験をナビゲーションに活かしています。また、自分が興味を持つ社会分野との関わりを大切にしながら、常に視野を広げ学び続けています。

また、各分野で優れた能力や豊富な経験をお持ちの方にも外部ナビゲータとして積極的にご参加いただいています。

●出る杭を伸ばします

ラーンネットではそれぞれの子どもが持つ好奇心や探究心を存分に満たし、個々の持つ強みをより伸ばして、そこから得られる自信とエネルギーで、様々なことにチャレンジする力を付けます。

●主体的に学びます

一方通行な受け身学習ではなく、興味あるテーマを自ら見つけ出して、調べ、行動し、判断し、表現するなど、物事に積極的に関わって学ぶ姿勢を身につけます。

●本物で学びます

本やインターネット、メディアなどから知識を得るだけでなく、現地や博物館などに出掛けたり、自らの手でものを作り出すなど、実体験を通して頭と心と体で学びます。

●表現と対話を重視します

自分の考えや気持ちを素直に表現し、お互いに刺激し理解し合う機会を多く持ちます。

●六甲山の豊かな自然に囲まれた学習環境

教室である六甲山のびのびロッジは、瀬戸内海国立公園六甲山地区内の山頂付近にあり、のびのびと集中して学べる環境が整っています。

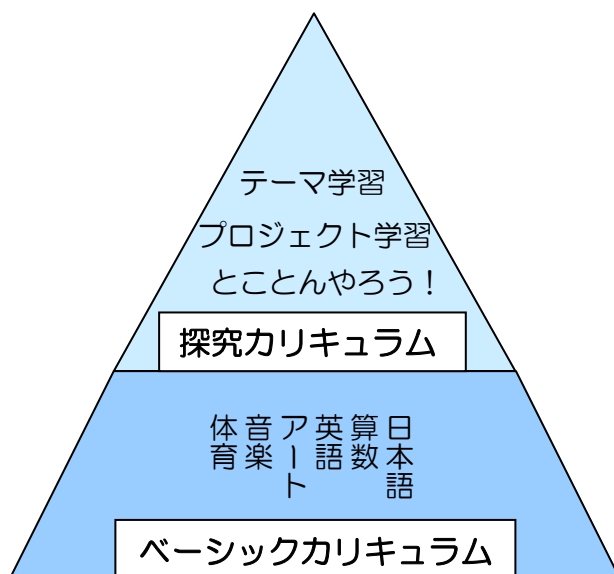
●子どもの「自ら学ぶ力」と「探究心」を育む独自のカリキュラム

ベーシックカリキュラム

日本語・算数・英語・音楽・アート・体育。基礎学力、教養、学習スキルを身に付ける。

探究カリキュラム

- ・テーマ学習 : ナビゲータが企画したテーマを通して、主に理科・社会を中心に芸術、算数、コミュニケーションなどを教科横断的に学ぶ。
- ・プロジェクト学習 : 子ども自身が、自分で興味のあるテーマを決めて探究する。
やってみて、つくってみて学ぶ。好奇心に基づき、深く掘り下げる。
- ・とことんやろう! : 興味のあることを、とことんやる。目標に向かって納得いくまで取り組み、やり遂げる経験をすることで、自分に自信をつける。



探究シェアリングの様子

毎学期、「探究シェアリング」でほかの子どもたちや保護者と、学んだことをシェアします。

ラーンネットではペーパーテストの点数による成績評価を行っていません。これは相対評価によって苦手意識ができてしまい、本来もっている能力を発揮できなくなる弊害があるからです。ナビゲータが一人ひとりの子どもの日々の様子を観察し、各科目で学んだこと、伸びた点や強み、課題などを「アセスメント」として文章でまとめ、各学期末の保護者面談でお伝えしています。

●時間割例（中学年クラス）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
移動 日本語（聴く）	移動 日本語（聴く）	移動 日本語（聴く）	移動 日本語（聴く）	移動 日本語（聴く）	
日本語（読む）	日本語（読む）	日本語（読む）	日本語（読む）	体 育	
マイ・スタディー	音 楽	英 語	日本語		
とことん プロジェクト	算 数	日本語	算 数	移動 日本語（聴く）	
中休み		中休み	ホームルーム		
コンピュータ サイエンス	マイ・スタディー	マイ・スタディー	マイ・スタディー	マイ・スタディー	
	掃 除				
掃 除		掃 除	掃 除	掃 除	
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	
	テーマ 磁石				
アート		とことん	プロジェクト	テーマ 磁石	
	テーマ 磁石				
アート		とことん	プロジェクト	テーマ 磁石	
日本語（書く）	移動 英語（聴く）	日本語（書く）	日本語（書く）	日本語（書く）	
	図書館				
移動 英語（聴く）	移動	移動 英語（聴く）	移動 英語（聴く）	移動 英語（聴く）	クラブ
					移動 英語（聴く）

※金曜日の午後「クラブ」は、選択制。

※「とことん/プロジェクト」は、各自が自分のとことん、またはプロジェクトのために時間を使います。

ベーシックカリキュラム

ベーシックカリキュラムでは、基礎的な力を身に付けます

●1週間のクラス時間

	低学年	中学年	高学年
日本語（クラス）	40分×3	40分×2	40分×2
日本語（読む）	15分×3	15分×4	15分×4
日本語（書く）	20分×3	20分×4	20分×4
日本語（聴く）	30分×4	30分×5	30分×5
算数	40分×3	40分×2	40分×2
英語	40分×1	40分×1	40分×1
英語（聴く）	30分×4	30分×5	30分×5
マイ・スタディー	40分×1	40分×5	40分×5
アート	40分×2	40分×2	40分×2
音楽	40分×1	40分×1	40分×1
体育	60分×1	60分×1	60分×1

※上記は平均的なクラス時間です。実際の時間割では、クラス時間は学期によって変動があります。

●日本語（クラス）

ねらい	正しい日本語を使って、自分の伝えたいことを表現し、かつ相手の伝えたいことを読み取ることができるよう、言語感覚を豊かにしていく。母語を学ぶことで思考するための土台をつくる。
教材	市販の教材、教科書（国語、書写）など
学び方	物語、説明文、詩、短歌などいろいろな文章を題材に、語彙をふやし、文章を読み取り、味わう力を養うとともに、文章による表現力を養う。 文字の習得に関しては、クラスでの学習を中心にスタートし、徐々にマイ・スタディーを中心とした学習へ移行していく。

ベーシックカリキュラム

●日本語（読む）

ねらい	毎日継続的に読書をすることにより、本に親しむ。また、内容を理解し、創造力を養い、本を通して世界を広げる。
学び方	毎日、自分で選んだ本を読む。

●日本語（書く）

ねらい	毎日文章を書くことを通して、書くことに慣れ親しみ、書く楽しみを感じる。また、言葉、文のつながり、構成を考えながら書けるようになる。
学び方	毎日、1日の終わりに自分のやったこと、思うことや感じることを書く。

●日本語（聴く）

ねらい	美しい日本語を聞く機会を増やし、語彙や表現力をつける。
学び方	毎日、移動中のバスの中で、物語・詩・古典などを朗読や、NHKの朝のニュースを聞く。

●算数

ねらい	基本的な算数の力を身につける。
教材	市販の教材
学び方	各学年で学ぶべき算数の概念を身につける。問題集やドリルだけでなく、生活や実体験に基づいた活動の中で学ぶ。四則演算などの基礎学習は、徐々にマイスタディーを中心とした学習に移行していく。

●英語

ねらい	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培い、聞くこと、話すことなど実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。 英語の音やリズムに慣れ、数、色、動物、体の部位などの基本的な単語と共に、日常生活に必要な会話表現を学ぶ。
教材	映像、英語絵本、その他市販の教材
学び方	ネイティブスピーカーと日本人ナビゲータが協力して担当する。 ネイティブスピーカーの発音に慣れ、英語の音に慣れ親しむ。 英語を使っのアクティビティを通して五感を使いながら英語の使い方に慣れる。

ベーシックカリキュラム

●英語（聴く）

ねらい	英語を聞く機会を増やし、英語の音に慣れる。
学び方	毎日、移動中のバスの中で、英語の歌やお話を聞く。

●マイ・スタディー

ねらい	日本語、算数の基礎を学ぶ。 自分で学習ができるようになる。
教材	市販の教材
学び方	日本語、算数の学習を通して、計画をたて実行する、習熟を確かめる、教材を管理する、時間の使い方を考えるなど、学ぶために必要な力を身につける。

●アート

ねらい	自由な発想で楽しく表現する。
教材	紙、ねん土、木材、布など
学び方	色々な素材を使って表現を楽しむ。表現によって、自分らしさを追求していく。作家を訪ねて、本物の作品に触れる。

●音楽

ねらい	音楽のいろいろな面を知り、楽しむ。みんなで音楽をする楽しさを味わう。
教材	ピアノ、リコーダー、ピアニカ、自作楽器、ミュージックベル、カホン など
学び方	合奏をする。歌をうたう。

●体育

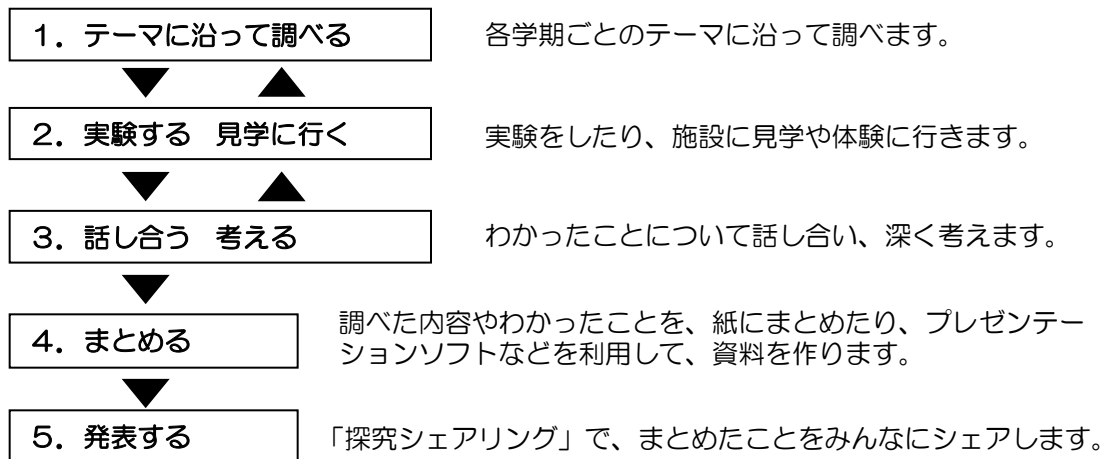
ねらい	体を動かすことを好きになる。
学び方	公共の施設・グラウンドに出掛け、様々なスポーツ（サッカー、キックベース、バスケットボール、ドッジボール、水泳など）を行う。スポーツを通して、ルールやチームワークなど、社会性を身につけていく。

●コンピュータサイエンス（中学年）

ねらい	コンピュータサイエンスの楽しさ、面白さを実感する。
学び方	プログラミング、インターネット、コンピュータの仕組み、デジタルリテラシーなどに触れる。また、実際にパソコンを使って体感する。

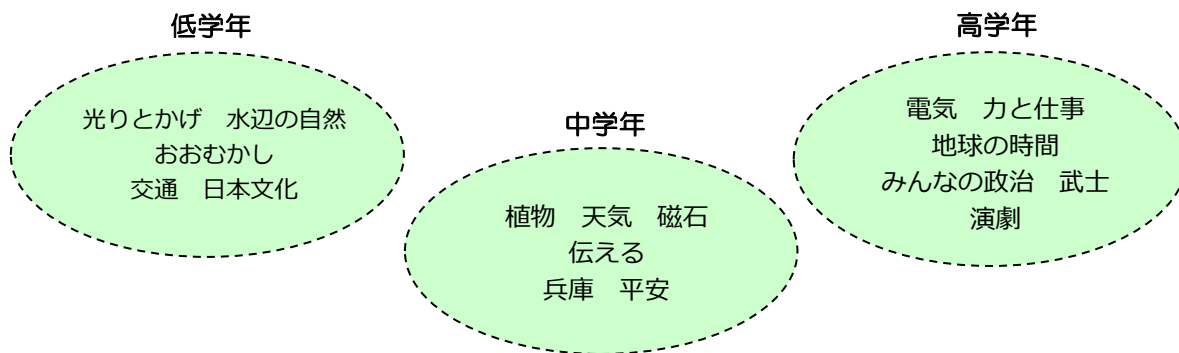
探究カリキュラム ●テーマ学習

ナビゲータが、子どもにとって興味深いテーマを設け、主に理科・社会の内容を教科横断的に様々な側面から学びます。

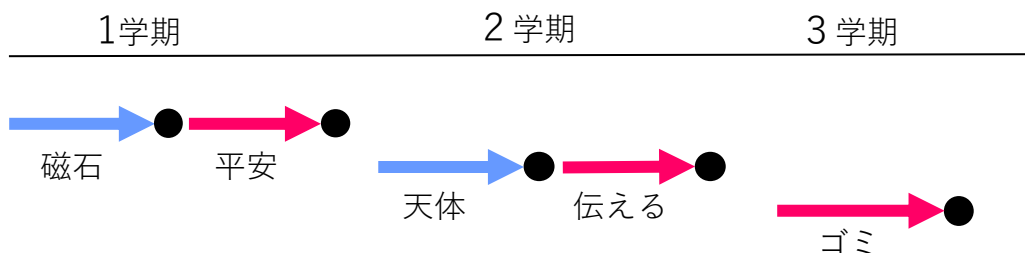


これらの活動によって、コミュニケーション（日本語）、算数、理科、社会、芸術の基礎的な学習項目を学びます。

☆ テーマ学習の例 ☆ ＊テーマによっては、学年ごとに分かれて行います。



☆ 中学年 1年間のスケジュールの例 ☆



探究カリキュラム ●テーマ学習

事例：おおむかし（低学年）

【むかしってなあに？】という問いをきっかけに、日本人のルーツを辿りながら、現代への進化の過程を学びました。主な内容は、縄文・弥生時代の暮らしと違いを学ぶことです。

（じょうもんって、めっちゃながい！）

最初に、手作りの年表巻物を使って現代から縄文までの歴史の長さを計ってみました。巻物を少しずつ広げながら、わくわくドキドキ歴史をじっくり遡ってついに縄文時代へ辿り着きました。すると、「じょうもんってめっちゃながいんやー！」と素直な反応が。

化石発掘体験では、職員の方から「貴重な資料になるので真剣に取り組んでください。」と説明を受け、やる気満々で臨みました。貝エビの化石が発見されたときには大盛り上がりでした。



（おおむかしの暮らしを体験）

ロッジ内を歩いて材料を集め、枯れ葉、小枝などに分類して火おこしの準備を調えました。なかなか簡単に火はつきませんが、回を重ねるごとにうまくなっていました。暖をとるため、調理のため、灯りのため、そして身を守るため、人類はさまざまな場面で「火」を頼りにしてきたことを学びました。

また、貫頭衣を着用して竪穴住居の中に入ってみたり、石包丁を使って草を刈ったりしながら、当時の暮らしを体験することもしました。施設内に、実際に掘り出されたお墓や、衣服、土器など沢山の展示物があり、当時の暮らしを間近に感じることができ、とても貴重な体験となりました。

（探究シェアリングに向けて）

絵本や学習参考書を使って、それぞれの時代の暮らしを「衣食住」を中心に学び、比較しました。またアートクラスと連携して、粘土を使い、縄文・弥生土器や食器を実際に作ってみました。

最後に、探究シェアリングに向け、縄文チームと弥生チームに分かれて紹介内容をまとめました。縄文チームは野外に資料館を作り、火おこしの方法や道具、お気に入りの土偶などを展示、紹介しました。弥生チームは、時代の流れを物語にして、朗読劇を作りました。また、衣服、調理道具、高床倉庫やお墓なども作って一緒に紹介しました。低学年の「テーマ」は、体験からいろいろなことを吸収できるようにデザインされています。



探究カリキュラム ●テーマ学習

事例：磁石（中学年）

テーマ「磁石」では、磁石の性質や特徴について学びました。実際に磁石に触れながら、色々な実験を経験しました。実験をする前に自分なりに予想を立て、実験の結果を記録することに力を入れました。電気と磁石は密接な関係があることを知り、電磁石やモータを作りました。



（予想を立て、結果を記録）

まずどんなものが磁石につくのか、つかないのか、磁石は身近なところでどこにあるのかを教室や家で探しました。その後、磁石を使って色々な実験をしました。例えば、「U字磁石のどの部分が一番強いのか？」まず予想をノートに書いてもらおうと、真ん中だったり端っこだったり、どこも同じ強さだと思える子もいました。そしてグループで磁石とクリップを使って実験。端っこにはクリップはたくさんつくけど、真ん中は1個くらいしかつかない。「なるほどー」と自分で確かめてノートに記録する姿が見られました。

（科学館で実体験！）

磁石を使ったおもちゃや実験を見に、大阪市立科学館に見学に出かけました。スクールでは扱えないほどの「強力磁石」で、反発する椅子に座ったり、強力電磁石を使って、電気が流れている時は鉄のブロックがたくさんくっつく実験などを、思う存分体験してきました。このようにテーマ学習では子どもたちが「本物」を見て、体験するために、できる限り外部に見学に出かけています。「本物」を見た感動は映像や写真では決して味わえません。



（みんなに見てもらいたい！）

電磁石やモータを作り、磁石の性質を知った上で、各自が磁石工作に取り組みました。何を作るかすぐに決めて工作に取りかかる子、参考資料を見ながら何を作ろうか考える子、実際に磁石と鉄球を手にとって、どんなゲームができるかを考える子、様々な姿で取り組み、迷路や車、自作のゲームなどが出来上がりました。この工作と今まで学んできたことを、「探究シェアリング」で紹介しました。クイズ形式にしたり、質問に答えたり、ゲームを試してもらったり、皆がそれぞれに学んだことを、保護者や他のクラスの子どもたちに見てもらいました。子どもたちは、「探究シェアリング」で自分の作ったものを見てもらったり、理解した内容を説明したりするのが大好きです。ラーンネットではこのようなアウトプットの機会がたくさんあります。

探究カリキュラム テーマ学習

事例：みんなの政治（高学年）

テーマ「みんなの政治」では、日本の政治制度や国会・内閣のしくみを学びました。政治用語を知るだけでなく、政治家と話をしたり、身近な大人にインタビューしたり、クラスで話し合ったりして、政治とは自分たちに身近な問題を扱っていることだと知りました。政治に興味を持つことで、日本の将来を自分事として考えました。

（ワークショップで政治を知る）

実際に政治家に来てもらい、政治を知るためのワークショップを体験しました。「日本で総理大臣より大切にされている人は？」と聞かれ、子どもたちからは「天皇？」「国民じゃなかった？」との声。憲法には国民主権とあるので、まず国民をトップに置き、次に国民が選ぶ国会議員、その国会議員の中から総理大臣を選び、総理大臣が各大臣を選び、警察官や消防士などの役所に命令するということを、図にして説明を受けました。その後、この5つの役に分かれて、投票して決めたり、命令したりということを、役になりきって体験しました。体を動かし、体感したことで、政治のしくみを理解しました。



（なりきりロールプレイング）

その後、日本国憲法を読んだり、国会と内閣のしくみについて調べたりする中で、民主主義とは何かを知り選挙について学んでいきました。政治家や有権者になりきって「悪い政治家を見抜く」ロールプレイングゲームも体験しました。すぐに見抜かれてしまう人、なかなか見抜けなかった人など様々でしたが、「選挙って、候補者がどれだけ強く主張したかで自分の意見が変わってしまう」という感想を持つ子もいました。

（保護者を交えてのディスカッション）

探究シェアリングでは、「自分の主張」をするディスカッションを行いました。子どもたちが選んだのは、日本の課題として頻繁に取り上げられている「消費税を10%にする」「憲法を改正する」「原発を使い続ける」「年金制度を廃止する」などです。これらについて賛成か反対か、まずは自分の意見をまとめ、当日は、保護者も交えて意見を言う場を設けました。子どもたちは、難しい問題を自分の事として考え、他人の意見も受け入れていました。ラーンネットでは、このようにクラスやスクール全体で話し合う機会がたくさんあります。



探究カリキュラム ●プロジェクト学習

次のステップで、個人又はグループで取り組みます。それによって問題解決能力を身に付けます。

1. テーマを決める

日頃「知りたい!」とか「どうして?」と思っていることをテーマに決めます。

2. 調べる

インターネットや図鑑で調べたり、現地見学やインタビューを行ったりします。

3. まとめる

調べた内容やわかったこと（結論）を、紙にまとめたり、プレゼンテーションソフトなどを利用して、資料を作ります。

4. 発表する

「探究シェアリング」で、まとめたことを、みんなにシェアします。



☆ プロジェクト学習事例 その1 ☆

「カタツムリ」

●テーマを決める

1年生のとき、野菜の葉にくっついてたカタツムリを飼育するようになって、どんどん興味を持つようになりました。

●調べる

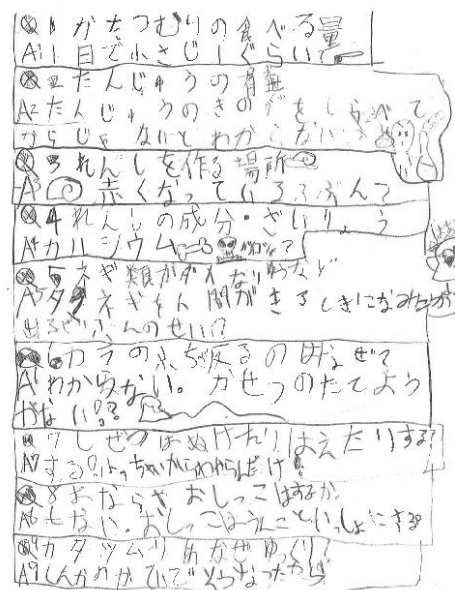
飼育をしていく過程で頭に浮かんだ疑問を、パソコンや図鑑で調べました。
エサの量・殻・受精・恋矢・産卵・歩くスピードなど。

●まとめる

調べた結果をノートにQ&A方式でまとめました。
実際に飼育してわかったことを記録していきました。

●発表する

1年からコツコツと探究を続け、3年生の時には、紙芝居でカタツムリの一生を紹介しました。
独特な語り口で聴衆を引き込み、魅力あふれるストーリーで、カタツムリのことを身近に感じてもらえるよう工夫していました。主人公のカタツムリの名前をみんなに考えてもらうなど、見ている人もいっしょに参加できる楽しい「探究シェアリング」になりました。



探究カリキュラム ●プロジェクト学習

☆ プロジェクトの例 ☆

- ・ モーター作り ・ 忍者の暮らし
- ・ ノーベル賞って何？ ・ 自作クレイアニメ「ムー大王」
- ・ 映画館ではどうしてポップコーンを食べるの？

☆ プロジェクト学習事例 その2 ☆



「ゆるキャラ」をデザインする

●テーマを決める

小学3年の時、全国の「ゆるキャラ」に興味を持ちました。

●調べる

都道府県のキャラクターを調べ、その土地をアピールする、それぞれの特徴をまとめていきました。

●まとめる

色々な「ゆるキャラ」を調べていく中で「自分もゆるキャラを作りたい」と考え、ラーネットの「ゆるキャラ」を作ることになりました。

●発表する

ラーネットのイメージは、自然（山）と子ども達。山の形に手足がつき、そこにスクールバスと子ども達が描かれた「ラーネットくん」が誕生しました。



このラーネットくんは、スクール子ども達や保護者にも受け入れられ、文化祭でお饅頭の焼き印になったり、スクール図書のマークになったりと、いろいろな所で使われるようになりました。

それから数年後、卒業に向けての最後のプロジェクトで、ラーネットくんの着ぐるみを作成すると決めました。平面から立体へ。山の形になるように、布地屋さんで相談をして型紙を作り、生地を裁断し、ミシンで縫い続けて、ラーネットくん着ぐるみが完成。

全国のゆるキャラに興味をもってから4年目。ラーネットのゆるキャラが本当に誕生したのでした。

探究カリキュラム ●とことんやろう！

子ども達が「とことん」と呼ぶ最も人気のカリキュラム。その名の通り、興味あることに“とことん”打ち込む時間です。個人又はグループで、次のような流れで進めていきます。

1. 取組内容を決める

自分の興味のあること、得意なことの中から、取り組みたい内容を決めます

2. 目標を立てる

できるだけ具体的に、目標を立てます

3. とことん取り組む

目標を達成するまで、とことん取り組みます。

☆取組内容の例 ☆

- ・将棋対局
- ・三角おにぎりを握れるようになる
- ・庭に畑を作って野菜の栽培をする
- ・パチンコをつくる



☆ 事例：ポップコーン作り ☆

いろいろな味のポップコーン作りに取り組みました。塩、バター醤油から、キャラメル味やチョコレート味まで、何回もチャレンジしていました。どのタイミングで味をつけるのが良いのかを研究し、みんなに試食をしてもらって、のびのびフェスティバルでポップコーン屋を開き、大好評でした。

☆ 事例：みんなでサッカー ☆

みんなでとことんサッカーをしますが、目標がそれぞれ違います。「シュートを決める」「ボールを怖がらない」「ボールに10回以上触る」「ハンドの反則をしない」など、各々の課題に取り組んでいます。活動の後には、毎回自分の目標に対してどうだったのかを振り返って記録しています。

チーム分けも自分たちで行います。初めは発言力のある子が、自分のチームが有利になるようにチーム分けをしていたのですが、そのうち片方だけが勝つ試合は面白くないことに気づき、どうすればバランスの取れたチーム分けになるのかを考えるようになりました。



また、どうすれば楽しくプレーできるかを考え、ミスした人を叱責するのではなく、どうして欲しかったのかを伝えたり、お互い良いプレーを誉めあったりするようになりました。サッカーはたくさん的人数でやった方が楽しいことに気づいたからこそ、みんなが楽しめるやり方を工夫するようになったのです。

バンビーナ の特徴

◎バンビーナで大切にしていること

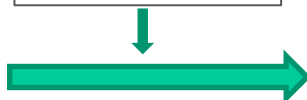
- ☆自分を大切に、人を大切に、ものを大切に。
- ☆自分のことが自分で出来る（自立）
- ☆自分の決めたことを最後までやり遂げる（自律）



◎ねらい

- ・集中してやり遂げる経験を繰り返す
- ・自分で判断して行動する
- ・興味があることを、とことんやる
- ・五感を使ったいろいろな経験をする

ナビゲータの援助



自信・集中力・自立心
自分の意思・自己選択力
好奇心・探求心
感性・思いやり

◎子どもの「生きる力」を育む

バンビーナでは、子どもの成長する力を信じることを大切にしています。
子どもの気持ちを受け止め、子どもの「やりたい！」という気持ちを大切に、
子どもの活動を見守り援助していきます。

子どもたちの自発的な活動を援助するために下記のような環境を整えています。

○縦割りクラス

異なる年齢（3才～6才）の子どもたちが同じ場所で過ごします。子どもたちは、
お互いの個性を尊重し、助け合います。
大きい子は小さい子を見守り、小さい子は大きい子から自然に学びます。

○少人数 定員15名

○ナビゲータ

ラーンネットでは、子どもの活動を援助するという意味で、先生ではなく
ナビゲータと呼んでいます。常時2名のナビゲータが子どもたちを見守ります



○モンテッソーリ教育

イタリア初の女性医師であり教育者であったマリア・モンテッソーリ（1870～1952）が提唱し実践した教育法です。モンテッソーリ博士は、適切な環境と適切な援助があれば子どもは自ら成長する力があることを発見しました。

- ・日常生活の練習
日常生活に在る様々な物を使いながら、手と目の協応性を養い、自分と物、自分と人との関係を結び付け、幼児自らが自らの主人公になっていく。
- ・感覚
モンテッソーリが考案した感覚の孤立化・一特性の孤立化という特徴をもつ系統だった教具にふれながら、五感を楽しく洗練させていく。
- ・言語
幼児の心に美しい母語（日本語）の根を育てる。また、その土壌を整え、思考力・想像力・表現力豊かな感性へと導く。
- ・数
モンテッソーリは「人間の心は天性数学的で、知識の進歩とは精密な観察からくる。この精密さを持った心を数学的頭脳と言う」と語った。バンビーナでは、体系化されている教具、方法、プログラムの中で子ども達自身が物事に順序性、秩序性を見出し、自らの手で分類・統合を繰り返しながら数学的頭脳を育成していく。
- ・文化
日常生活の練習、感覚、言語、数、とゆっくり細やかな階段を登ってきた子ども達に地球人としての、あるいは“宇宙人”としての自分に気付いてもらう。自分を育んでくれる偉大な自然に感謝し、信頼の気持ちの中で地理、歴史、生物に対する知識を深めていく。

バンビーナのスケジュール

●1日の流れ（月火木金の一例 水は11:30降園）

- 8:45～ 9:00 登園
- 9:00～10:30 モンテッソーリ教育による自由選択活動
- 10:30～11:30 外遊び
お弁当の準備（当番制）
午前の集まり（絵本の読み聞かせ）
- 11:30～12:30 お弁当
- 12:30～13:30 自由遊び
午後の集まり（音楽）
- 14:00 降園



- 年間行事 親子遠足 川遊び クリスマス会 お餅つき など
☆運動会、のびのびフェスティバルは、フルスクールと合同

- 3学期制 夏休み、冬休み、春休みがあります。

卒園後、小学校とのつながり

バンビーナの卒園児にはフルスクールへの進学をお勧めしています。共通の理念に基づいた学習環境で、バンビーナでの学びをさらに伸ばしていくことができます。
一般の小学校に進学した場合でも、徐々に新しい環境に適応し、自分らしさを発揮していくケースが多いようです。

アフタースクール

「ステモン・クラス」「ダ・ヴィンチクラス」を岡本わくわくハウスで開講しています。入会は随時可能で、見学・無料体験も受け付けております。入会金 10,000円（税込）

◎ステモン・クラス（土曜日） 月謝:12,700円

- ベーシックコース（小学1年生～）：STEM教育の基礎を楽しみながら身につける。
- アドバンスコース（小学2年生～）：STEM教育の学びを活用し楽しみながら表現する。
- キッズエリートコース（小学3年生～）：STEM教育のより実用的な内容(IoT、電気回路など)を楽しみながら学ぶ。
- プログラミング＆ロボットコース（小学4年生～）
：プログラミングでゲームを開発する“ゲームクリエイター編”と
ロボット制御を学ぶ“ロボットクリエイター編”の2領域があります。

＊どのコースを開講するかは年度によって異なりますので、詳しくはホームページをご覧ください。

◎ダ・ヴィンチクラス

脳の働きを活性化させるアートプログラムとして大学・医療機関などで注目をあびている「臨床美術」の手法を活かした、これまでにないアート教室です。アートの力で、感じる心、表現する気持ち、達成する力を育てます。独自のアートプログラムにより、図工が好きなお子さんはもちろん、苦手なお子さんも、自分らしい創作活動を心から楽しめ、多様な感性や才能を育むことができます。

クラス	対象	受講日	時間	月謝
ダ・ヴィンチクラス	3才～	土曜 ※月3回	9:00～10:00 10:10～11:10 11:20～12:20	11,000円

※月謝11,000円には、教材費を含みます。

※入会時にオイルパステル（880円）のご購入が必要です。

※親子クラス、大人のダ・ヴィンチもございますので詳しくはお問合せください。

ダ・ヴィンチクラス

ダ・ヴィンチクラスは、

脳の働きを活性化するアートプログラムとして

大学・医療機関などで注目をあびている

「臨床美術」の手法を生かした、アート教室です。

独自のアートプログラムにより、

図工が好きなお子さんはもちろん、苦手なお子さんも、

自分らしい創作活動を心から楽しめ、多様な感性や才能を育むことができます。



● 「臨床美術」 とは

美術家が医師らとチームとなって研究開発した、脳科学に基いた独自のアートプログラムです。一人一人の参加者に沿った働きかけをすることで、その人の意欲と潜在能力を引き出します。



「かぼちゃの立体工作」

かぼちゃが段々大きくなる様子をイメージしながらかぼちゃの形を作りました。

本物のかぼちゃも観察したよ。

中身の色の紙を貼り、バランスをとりながら、表面の色の紙を貼って仕上げました。



● 講師紹介

木野内 美里 先生

臨床美術士

京都市立芸術大学卒

世界をかけめぐるチョコレートバイヤー

ダ・ヴィンチクラスでは、最後の鑑賞会を大切にしています。子どもさんがみんなの前でほめられることで自信がつき、絵を好きになってほしいです。そして、絵によって人のいいところを見つける習慣を身につけて欲しいと思います。



ランネット・グローバルスクール（フルスクール）

Q & A 目 次

1. スクールの位置付け （P21）

- Q. ランネット・グローバルスクール（以下ランネット）はこれまでにどんな活動をしてきたのですか？
- Q. ランネットは文部科学省認可の学校ですか？
- Q. ランネットは特定の宗教や思想に基づいているのですか？
- Q. ランネットの考え方とモンテッソーリ教育の関係は？

2. 学校との関係 （P22）

- Q. ランネットに通った場合、学校の先生や教育委員会とトラブルになりませんか？
- Q. ランネットから他の小学校に転校した場合、適応できるでしょうか？

3. 進路 （P22）

- Q. ランネットフルスクールに通った場合、公立の在籍はどうなるのでしょうか？
- Q. ランネット卒業後はどんな進路があるのでしょうか？

4. カリキュラム （P23）

- Q. どのような考えに基づいてカリキュラムを作っているのですか？
- Q. 既存の学校で学ぶような基礎学力をどうやって身に付けるのですか？
- Q. フルスクールでは英語の授業はどのように位置づけられていますか？
- Q. 学習においてコンピュータやインターネットをどのように活用するのですか？

5. スタッフ・協力者 （P24）

- Q. どうして“先生”でなく“ナビゲータ”と呼ぶのですか？
- Q. ナビゲータはどのような方針で子どもに接しているのですか？
- Q. ランネットの推薦者・協力者にはどんな方がいるのですか？

6. 保護者とスクールとの関係 （P25）

- Q. ランネットに子どもを通わせした場合、保護者に期待される役割はどんなものなのでしょうか？
- Q. 子どもの学校での様子を親にどういう形で報告してもらえるのですか？

7. 費用 （P25）

- Q. フルスクールの授業料、バンビーナの保育料を教えてください。
- Q. フルスクールの授業料は他の学校と比べて高いですか？
- Q. 学費以外にどんな費用が発生しますか？
- Q. このような学費の設定でスクールの経営は大丈夫なのでしょうか？

8. 応募・入学資格 （P26）

- Q. 応募する前にスクールの様子を見学することはできますか？
- Q. 入学の時期はどのようになっていますか？
- Q. フルスクールおよびバンビーナの募集要項はありますか？
- Q. フルスクールの入学資格は何でしょうか？筆記試験や面接はあるのでしょうか？
- Q. フルスクールは才能に恵まれた人のための英才教育なのですか？
- Q. 障害児を受け入れますか？
- Q. 外国人や帰国子女は入学できますか？
- Q. 入学は考えていないのですが、イベントなどにスポット的に参加することはできますか？

1. スクールの位置付け

Q. ラーンネット・グローバルスクール（以下ラーンネット）はこれまでにどんな活動をしてきたのですか？

A. ラーンネット・グローバルスクール沿革

1996年 4月 教育に新たな選択肢を作るため、炭谷俊樹、由加里、松山治邦の3名でLGSを立ち上げる

六甲わくわくハウスでアフタースクール「ロゴパソコンランド」スタート

1997年 4月 アフタースクールを拡充。レゴロゴ、英会話、算数、アート、アウトドアなどのクラスを新設

1998年 4月 フルスクール開校。第1期生を迎える（小学クラスのみ）

2000年 4月 幼児クラス、中学クラス開設、わくわくハウスが岡本に移転

2000年 11月 NHK（総合）の番組「人間ドキュメント」にてLGSが紹介される

2000年 12月 炭谷俊樹著「第3の教育」出版（角川書店）

2001年 4月 幼児クラスがモンテッソーリ幼稚園バンビーナとなる

2010年 12月 炭谷俊樹著「ゼロからはじめる社会起業」出版（日本能率協会マネジメントセンター）

2011年 9月 アフタースクール「ダヴィンチクラス」開講

2013年 2月 炭谷俊樹著「実践 課題解決の新技术」出版（PHP研究所）

2020年 4月 「Learnnet Edge」開校

Q. ラーンネットは文部科学省認可の学校ですか？

A. ラーンネットは文部科学省認可の学校（いわゆる一条校）ではありません。フリースクール、またはオルタナティブスクールの位置づけです。

Q. ラーンネットは特定の宗教や思想に基づいているのですか？

A. 特定の宗教・思想には依存していません。

皆で共有する価値観として「人を大切に、自分を大切に、ものを大切に」を置いています。

Q. ラーンネットの理念とモンテッソーリ教育の関係は？

A. 幼児クラスバンビーナでは、モンテッソーリ教育を一部取り入れております。一方フルスクールはモンテッソーリのカリキュラムそのものは用いておらず、独自のカリキュラムを開発しています。しかし自立・自律を促すなど理念的に共通する部分が多いため、モンテッソーリ園の卒園生にとってフルスクールは一つの魅力的な選択肢であるといえるでしょう。

2. 学校との関係

Q. ラーンネットに通った場合、学校の先生や教育委員会とトラブルになりませんか？

A. 地域によって教育委員会の方針は異なりますが、ラーンネットへの通学が出席として認められたり、通学定期が発行されるケースも増えてきています。15年間で100名以上の生徒が在籍しましたが、問題になったケースはありませんのでご安心ください。ご心配なことがありましたらご相談ください。経験に基づいてアドバイスをいたします。

Q. ラーンネットから他の小学校に転校した場合、適応できるでしょうか？

A. ラーンネットでは自分で状況を判断し、行動する力を身につけます。環境が変わっても、自分らしさをどう発揮できるか自分で考えて適応していきます。これまでも転校されたケースはありますが、皆さん元気に通われています。

3. 進路

Q. ラーンネットフルスクールに通った場合、公立の在籍はどうなるのでしょうか？

A. 公立小学校等に籍を置いておきながら、ラーンネットに通われる方が多いです。義務教育である小学校では、学校に登校しなくても進級しますし、卒業資格も与えられます。一方、籍を外されている場合もあります。ラーンネットからも卒業証書を発行しますし、進学に際しては内申書(アセスメント)を発行します。詳しくは、お問合せください。

Q. ラーンネット卒業後はどんな進路があるのでしょうか？

A. 小学生の卒業後の進路としては、Learnnet Edge、私立中学受験、公立中学進学、インターナショナルスクールへの進学、というケースがあります。それぞれの方が希望の進路を選択しています。特徴としては、偏差値で進学先を選ぶというよりは、自分のやりたいことは何か、それを実現するためにはどこに進学するのがよいか、という考え方で希望の進学先を選んでいるということです。コンピュータが得意な子、スポーツが得意な子、イルカの研究をしたい子、ロボットの研究がしたい子、栄養士になりたい子、など様々な興味で生き活きと活躍してくれています。結果的にはいわゆる一流大学といわれるところに進学している場合もありますが、それは手段であって目的ではありません。

希望の進学先が決まった後は、その学校の試験に応じた内容の問題集をマイスタディの時間に行うなど、カリキュラムの対応も行っています。

4. カリキュラム

Q. どのような考えに基づいてカリキュラムを作っているのですか？

A. カリキュラム作成に当たっては、内外の先進的なスクールのカリキュラムや教材について調べた上で、ラーンネットにふさわしいと思われるカリキュラムを、一部外部の専門家の指導も得ながら開発しています。教材選定に当たっては、以下の” IT's NEWコンセプト ”を基準にしています。

< IT's NEWコンセプト >

- I nterest 子どもが学習課題に興味を持つ
- T ailored 個性が尊重され、興味や進捗に応じた学習プログラムが提供される
- N o Limit 発展成長（学べること）に限界がない
- E xpress 自己表現する機会が豊富にある
- W hy 疑問（＝知りたいという意欲）を持続させる

Q. 既存の学校で学ぶような基礎学力をどうやって身に付けるのですか？

A. テーマ学習やベーシック学習の中で学んでいきます。

テーマ学習では” 恐竜 ”や” 宇宙 ”など子どもにとって興味深いテーマを設け、そのテーマにそって様々なことを学習していきます。その中で、コミュニケーション（日本語・英語）、算数、理科、社会、芸術（アート、音楽）、などの基礎学力を身に付けます。理科については小学生に必要なと思われる学習課題をテーマ学習でカバーします。一方社会については「広く浅く」ではなく、個別テーマを深く考える形をとっています。

読み書きや計算など、反復練習が重要であることについてはベーシック学習の中で学んでいきます。ここで大事なことは強制による反復練習ではなく、自らの意志とペースを重視していることです。自分で計画し、やり遂げる力をつけることで本当の基礎学力が身に付きます。

Q. フルスクールでは英語のクラスはどのように位置づけられていますか？

A. 会話やゲームなどを通じて英語の音やネイティブスピーカーの外国人とのふれあいに慣れることを重視しています。基本的にコミュニケーションに必要な基礎を身につけるという考えです。

Q. 学習においてコンピュータやインターネットをどのように活用するのですか？

A. 学習支援ツールとして、4通りの重要な用途があると考えます。

1. インターネットで世界中から情報を集めるなど、情報収集の手段として
2. 学んだことを伝えるための資料作り、及び情報発信のためのホームページ作りなど、自分の考えを表現する手段として
3. SNSを使って意見交換するなど、コミュニケーションの手段として
4. 試行錯誤を何度でも繰り返して、納得いくまで試せるシミュレーションの手段として

子どもたちは辞書や画用紙を使うのと同じように、一つの便利なツールとして使いこなしています。

5. スタッフ・協力者

Q. どうして“先生”でなく“ナビゲータ”と呼ぶのですか？

A. 情報がネットワークによって誰でも手に入る時代となると先生がすべての必要な知識を持ち子どもに教えるという事はどんどん難しくなっています。むしろ子ども自身が主体的な探索者として、必要な情報を取捨選択する力をつけることが重要であり、大人は子どもの知的探究の側面支援者であるべきであるという考えから、“ナビゲータ”と呼んでいます。

Q. ナビゲータはどのような方針で子どもに接しているのですか？

A. ラーンネットでは以下のようなナビゲータガイドラインを作成し、心掛けています。

●子どもを見守る

どんなことに興味を持つか？何がうれしいか？悲しいか？

どのような表現をするか？どのように人と関わるか？

新しいことにどのように取り組もうとするか？

等、一人一人の特徴（違い）を観察する。

問いかけをするのもよいが、主体性や集中を妨げるほど

関わりすぎないようにする。

●いい刺激を得られる環境を提供する

興味のあることに一緒に取り組む

好奇心のきっかけとなるような体験、情報等へのアクセスを提供する

好奇心が深まるような質問をする

●フィードバックする

結果や点数で評価するのではなく、観察を通じて

自分が見たことや感じたことを素直に伝える。

いやなことはいやとはっきり伝える。

難しいときに子どもが甘えて頼ってくるときなど、

ときには「自分でやってみて」と突き放すことも大事。

Q. ラーンネットの推薦者・協力者にはどんな方がいるのですか？

A. ラーンネットは教育改革の一つの事例として注目されており新聞、雑誌、テレビ等の取材や講演の依頼を受ける機会も多くあります。多くの方の応援・協力を頂いております。世界的に著名な経営コンサルタントの大前研一氏や東京大学の中須賀真一教授には推薦者にもなって頂いております。

東京コミュニティスクールとは提携校として、探究型カリキュラムの研究や子どもたちの交流などを行っています。

6. 保護者とスクールとの関係

Q. ラーンネットに子どもを通わせた場合、保護者に期待される役割はどんなものでしょうか？

A. お子さんの可能性、自主性を信頼し、過度に干渉することなく、自主的な学習、意志決定を奨励、支援されることです。またクラスの見学や、ご意見をいただくことも歓迎です。学期毎の「探究シェアリング」にお越しいただき、学期末には保護者面談を行います。ラーンネットのナビゲータとコミュニケーションをとりながらお子さんの成長を暖かく見守り、ご支援頂ければと思います。

また、保護者の方には「やりたいことを、やりたい人が、やれる範囲でやる」を原則に自主的に活動していただいています。例えば「看板作り」「フリーマーケットへの参加」「夏休みの川遊び」などいろいろな企画が提案され実施されています。参加義務はありませんので、ご興味のある部分で、無理のない範囲でお力をお貸しください。

Q. 子どもの学校での様子を親にどういう形で報告してもらえるのですか？

A. 各学期末に、「アセスメント」と呼ぶ書面とともに面談で報告いたします。「アセスメント」は成績表・通知簿のような数字の羅列ではなく、お子さんがどのような点で成長されたか、あるいは強みをもっておられるか等についてナビゲータが感じたことを文章で記述したものです。面談では、「アセスメント」の内容をご説明するとともに、お子さんの成長をどう育むかについて双方向で話し合います。

7. 費用

Q. フルスクールの授業料、バンビーナの保育料を教えてください。

A. ホームページに掲載しております。各ページをご確認ください。

Q. フルスクールの授業料は他の学校と比べて高いですか？

A. 無料の公立学校に比べると当然高くなりますが、私立学校と同等のレベルです。少人数教育であることを考慮すれば高くはないと思います。

Q. 学費以外にどんな費用が発生しますか？

A. 岡本わくわくハウス～六甲山のびのびロッジ間のスクールバス代として、年に120,000円いただいております。それ以外には外部施設への見学等にかかる実費ですが、これらについては事前に保護者の方のご承諾を得て行います。

Q. このような学費の設定でスクールの経営は大丈夫なのでしょうか？

A. 無駄な経費を省くなどで安定的に運営できる体制を整えております。また、研修やコンサルティングの実施等によって経営基盤を支えています。

8. 応募・入学資格

Q. 応募する前にスクールの様子を見学することはできますか？

A. 月に1回程度、見学日を設けております。その他に、年に2回ほど学校説明会を行っております。

Q. 入学の時期はどのようになっていますか？

A. 新一年生は4月入学です。（編入生については、欠員が生じた際に随時募集します）

Q. フルスクールおよびバンビーナの募集要項はありますか？

A. 募集要項はホームページに掲載しております。また、お渡しもできますので、ご入用の方はお問い合わせ下さい。

Q. フルスクールの入学資格は何でしょうか？ 筆記試験や面接はあるのでしょうか？

A. まずは学校説明会にご参加ください。その後、入学応募書類にご記入いただき、ラーンネットの趣旨と家庭の教育方針に矛盾のないことを確認します。また、お子さん、保護者、それぞれのグループワークや保護者面接による選考を行い、それらを総合して入学の判断をさせていただきます。筆記学力試験は行いません。編入学の場合も基本的には同じですが、その都度お知らせする募集要項にてご確認ください。

Q. フルスクールは才能に恵まれた人のための英才教育なのですか？

A. 試験で選抜して英才を選ぶようなことはしません。ラーンネットではすべての子どもは何らかの天賦の才を持っていると考えており、それを発揮する手助けをする場所であると考えています。

Q. 障害児を受け入れますか？

A. 障害のあるなしではなく、通常のクラス運営と個別の配慮で可能な範囲と判断できる場合、受け入れております。ただしとくに専門家が常駐しているわけではありません。

Q. 外国人や帰国子女は入学できますか？

A. 入学できます。ただしほとんどのクラスは日本語で行われます。

Q. 入学は考えていないのですが、イベントなどにスポット的に参加することはできますか？

A. ラーンネットでは定期的に一般の方にご参加いただけるイベントを行っております。夏休みには宿泊のあるサマースクールを行っております。また、不定期ですが、イベントも行っております。これらのイベントは、ホームページ又はメールマガジン（無料）にてご案内しております。メールマガジンを購読ご希望の場合はお知らせ下さい。

●六甲山のびのびロッジ（フルスクールの教室）

ラーンネットでは、豊かな自然環境の中で学ぶことが重要と考えます。六甲山のびのびロッジは、標高約850mの瀬戸内海国立公園六甲山地区内（神戸市灘区）に位置し、フルスクールのクラスの多くはここで行います。

☆ 大きな山荘風の家

のびのびロッジは地上1階、地下1階の元銀行の保養所だった山荘です。4つの教室に広いキッチンや工作室などもあります。またベランダからは周辺の山々を一望できます。

☆ 約600坪の広大な敷地

たくさんの木々や草花に囲まれた広い庭には手作りの遊び場があり、ファイヤープレイスで野外料理も楽しめます。

☆ 自然豊かな周辺の森

周辺の環境は野外学習には最適で、生物や植物の観察、アウトドア活動などに利用します。また近隣には、高山植物園やフィールドアスレチック、人工スキー場などの施設があります。



木々に囲まれたのびのびロッジの入り口



木をふんだんに使った教室

●岡本わくわくハウス（アフタースクール、バンビーナの教室）

阪急岡本駅から徒歩5分、JR摂津本山駅から徒歩3分の閑静な住宅街に位置し、通学に便利です。150坪の敷地に建つ2階建ての家が教室です。フルスクール生は毎朝ここからスクールバスに乗り、六甲山のびのびロッジへ向かいます。



お問い合わせ先

ラーネット・グローバルスクール（岡本わくわくハウス）

〒658-0072 神戸市東灘区岡本 2-8-14

TEL : 078-436-8575 （日曜・祝日休み）

FAX : 078-436-8576

ホームページ : <http://www.L-net.com/>

Face book : <https://www.facebook.com/Learnnet.Global.School/>

Instagram

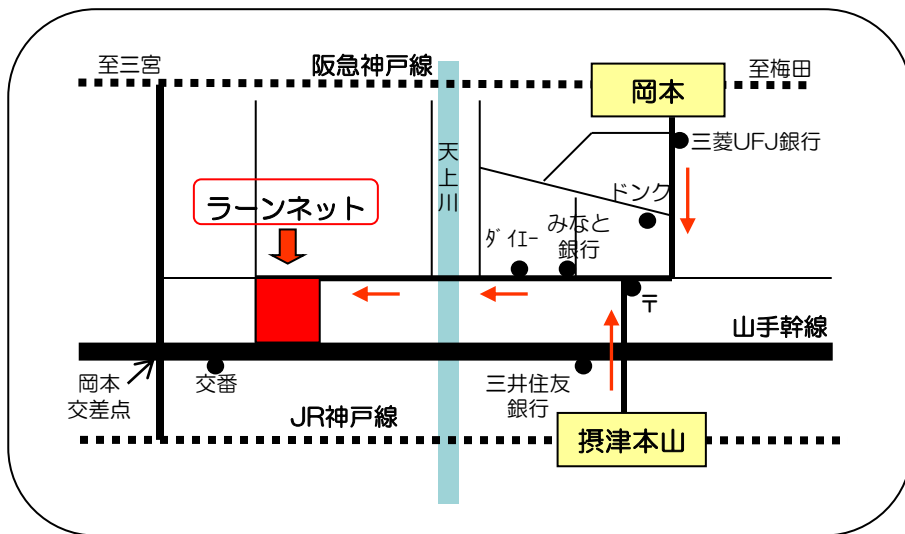
フルスクール : https://www.instagram.com/learnnet_global_school/

バンビーナ : https://www.instagram.com/bambina_lgs/

ダ・ヴィンチ : https://www.instagram.com/davinci_miri/

E-mail : info@l-net.com

岡本わくわくハウス地図



（阪急岡本駅より徒歩5分、JR摂津本山駅より徒歩3分）